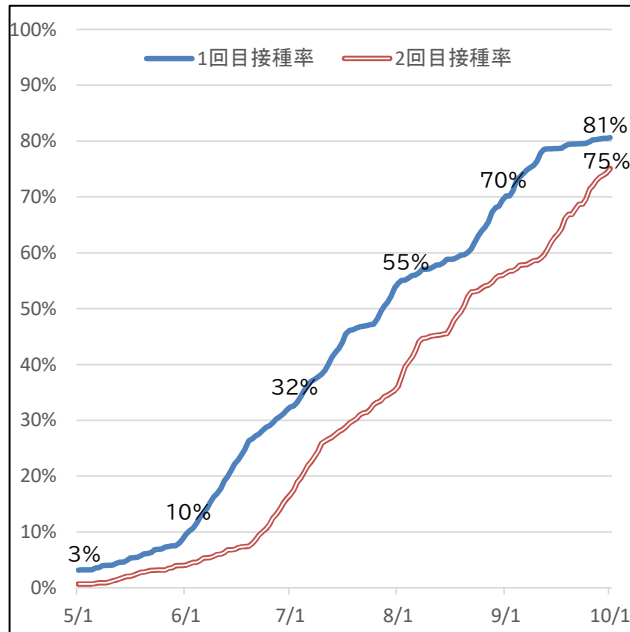


新型コロナウイルスワクチンの接種状況及び今後の接種体制について

1 接種率の推移

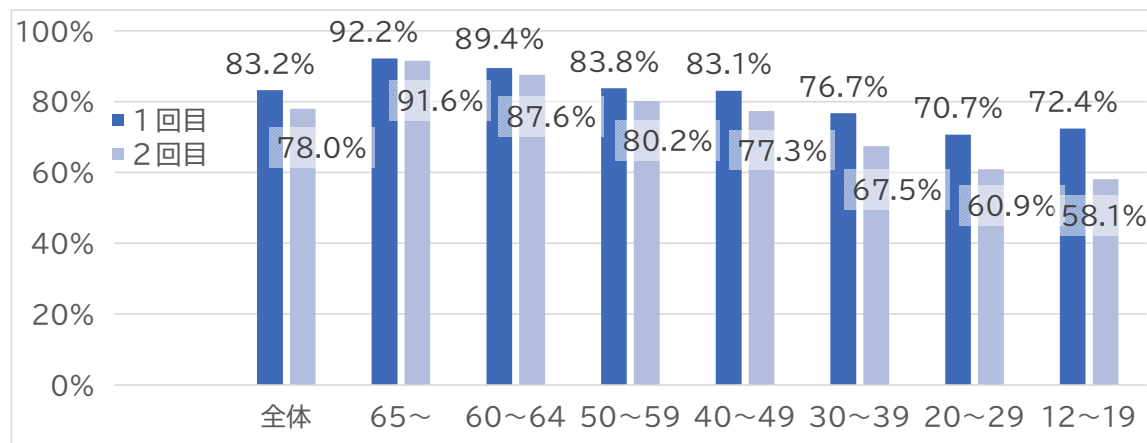


1回目接種率は6月～9月初旬に大きく伸びました。

1回目の3週間後に2回目をセットで予約していただく方式としているため、3週間遅れで2回目接種率が伸びる状況となっています。

10月末には、2回目接種率が目標としていた8割を超える見込みです。

2 10/10 現在の年代別接種率 (12歳以上人口ベース)



3 ワクチンの種類・接種場所の内訳

10/10現在

ワクチンの種類	接種場所	割合	合計接種回数	1回目	2回目
ファイザー (90.6%)	市内医療機関 (個別接種・医療従事者等)	61.4%	75,202	38,641	36,561
	渋川福祉センター (集団接種)	17.8%	21,861	11,360	10,501
	市外医療機関 (個別接種・医療従事者等)	11.3%	13,819	7,099	6,720
モデルナ (9.4%)	職域接種・その他大規模接種	6.9%	8,456	4,565	3,891
	バンテリンドームナゴヤ	2.6%	3,168	1,587	1,581
合計		100%	122,506	63,252	59,254

4 今後の接種体制

今後、令和4年2月末（国の定める実施期間）までに、約2,000人の接種が必要と推計し、**1週間当たり100～200人の接種を継続**します。

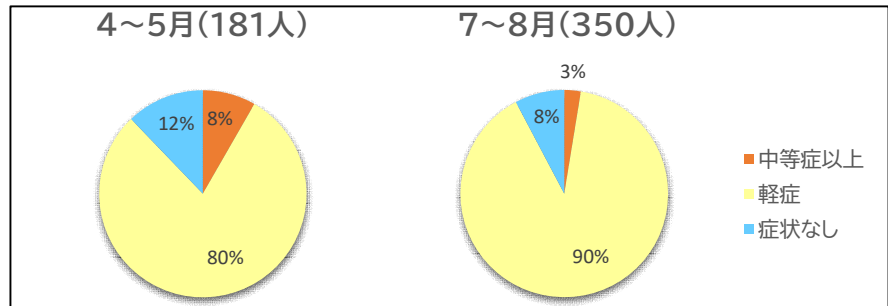
個別接種	10/11・10/18週： 10医療機関で継続 （2回目は11/1週・11/8週） 11/1週以降： 3医療機関（ディープフリーザー設置機関）で継続
集団接種	土曜日（午後）・日曜日（午前）の2枠で実施中。 10/24（日）で終了
その他	愛知県が設置する会場等での接種を案内

※ コールセンターの土日・祝日の業務は、10/31（日）で終了

【参考】尾張旭市の感染状況とワクチン接種

第4波のピークの4～5月の感染者数は181人で、中等症以上の割合が8%を占めていました。第5波のピークの7～8月には、デルタ株の蔓延により感染者数が350人と倍増しましたが、中等症以上の割合は3%に減少し、**ワクチンの重症化予防効果**が表れたと推測されます。9月には**特に接種が進んだ若年層で、感染者数が減少**しました。

<症状の割合の比較>



<令和3年4～9月の感染者数とワクチン接種率（2回目）の推移>

